

日本国総理大臣
安倍晋三閣下、

2014年12月1日

ミャンマーと日本の外交関係樹立60周年の記念すべき機会に、閣下、そして、閣下を通じて日本の国民に対し最大の敬意と心からの喜びを伝達する光栄を有します。

ミャンマーと日本は1954年12月1日に正式な外交関係を樹立しました。それ以降、友好的な二国間関係と両国間の協力は着実に進展してきました。私たちの友情の絆、親善、理解が広がっていくにしたがって、協力の範囲は広がり続けてきました。

2011年のミャンマー連邦共和国新政権成立以降、二国間関係と両国間の協力はめざましく発展しています。ミャンマーは、我々の改革プロセスと国民和解の努力における日本の支持と協力に全面的に感謝しています。

過去3年間、ミャンマーと日本の首脳の間には頻繁な往来がなされました。私は、2012年4月と2013年12月に日本を公式訪問した際に日本政府と日本の国民のみなさまから受けた暖かい歓迎とおもてなしを思い出すと嬉しくなります。私たちはまた、閣下が2013年5月と2014年11月にミャンマーを訪問された際には私たちのおもてなしの心でお返しできたことを嬉しく思います。これらの訪問は両国間関係の歴史と二国間協力において画期的な出来事となることでしょう。

ミャンマーは、特に人材開発の分野における日本の経済・技術協力が、我々の経済を発展させる努力に寄与してくれたことに対し本当に感謝しています。二国間の経済協力は近年著しく拡大しています。最近では、日本は、ミャンマーにとって4番目に大きい貿易相手であり、ミャンマーに対する外国直接投資の規模では上から11番目になりました。

私は、両国の国民の相互利益になるような二国間協力の新たな可能性のある分野はまだ残っていると確信しています。ますます頻繁になる政府間、議会間、そして様々なレベルでの人的交流は、相互

理解を促進し、多面的な両国間の協力をさらに深めてきました。

ミャンマー・日本の外交関係樹立60周年を記念して今年1年を通じて両国で開催された文化、教育、観光関連のイベントは、相互理解を促進し、両国の国民の間の絆を深めることとなりました。

このおめでたい機会に私は、ミャンマーは、両国間関係と今後の協力をさらに強固なものにするために日本とともに協力していくことを重ねて申し上げたいと思います。

両国外交関係60周年の機会に、私は、日本の国民の皆様と政府に対しまして、さらなる発展と繁栄を心からお祈りいたします。

ここに閣下に深甚なる敬意を表します。

テイン・セイン
ミャンマー連邦共和国大統領